

般会計補正予算

• 0

処分)、を審議し、全議案を可決した。

で行われた。報告事項1件、令和6年度補正予算2件

6月定例会は6月7日から11日までの5日間の会期

(うち1件は専決処分の承認)、条例改正1件

(専決

補正予算のあらま

岐にわたる議論が交わされた。 デジタル化に向けた計画策定、 る取り組み、戸沢村第二期人口ビジョン、介護保険、

村道の管理状況等々多

般質問には5議員が登壇し、村の存続と振興を図

事業、 計画策定業務、 償還等に伴う予算が計上さ 支援及び定額減税補足給付 今回の補正は、 地域活性化企業人派遣 再生エネルギー導入 長期債繰上 低所得者

公債費

長期債償還元金

画策定業務委託料 再生可能エネルギー 070万円 導入計

歳出の主なも ഗ

化されました。

金を繰上償還するため予算 戸沢中学校改築事業償還元 1億5846万8000円

要する経費等です。

3143万円 補足給付金支援事業費 低所得者支援及び定額減税

環境衛生事業費

条例改正

373万3千円

DX関係のアドバイザーに

地域活性化企業人事業費

について する条例の専決処分の承認 戸沢村税条例の一部を改正

とに伴い改正されました。 法律が公布、 地方税法の一部を改正する 施行されたこ

4月

日

4月~6月

1 日 戸沢村選挙管理委員会委員及び同補充員当選証 書附与式

戸沢村立戸沢学園入学式

25 24 19 16 10 日 日 日 日 第1回戸沢村観光物産協会理事会 交通事故死ゼロを目指す旗波作戦街頭啓発指導

第55回殉難の碑参拝

戸沢村身体障害者福祉協議会総会

例月出納検査

// 安全運航祈願祭

26 日 戸沢村遺族会総会

// 戸沢村教職員歓送迎会

30 29 日 日 戸沢村観光物産協会総会 戸沢村消防団春季消防演習

5月

第37回東京戸沢会総会・懇親会

24 21 21 20 16 15 14 13 12 日 日 日 日 日 日 日 日 県選出国会議員要望会

TOZAWAツーリズム協議会役員会 戸沢村青少年育成村民会議評議員会

戸沢村老人クラブ連合会総会

最上県政懇話会例会

22 日 TOZAWAツーリズム協議会総会 町村議会議長·副議長全国研修会

国道47号·新庄酒田地域高規格道路整備促進期成 同盟会役員会並びに総会

最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会

27 日 例月出納検査 第1回県及び市町村長・議長会議

常任委員会報告

総務文教常任委員会

採択すべきである。 する意見書の提出について 員会を開催し、2件の請願に ○審査結果 ついて審査を行いました。 地方財政の充実・強化に関 6月10日に総務文教常任委

○理由

地方財政の充実の強

化と国民生活の向上を図るた

○理由 採択すべきである。 意見書の提出について ○審査結果 健康保険証の存続を求める 国民皆保険制度の継

総務文教常任委員長 安食 勇

維持のため。

産業建設常任委員会

陳情があり、6月10日委員会 図るため。 採択すべきである。 と担当課で現地視察後、 産業建設常任委員長 建設常任委員会において審査 ○理由 地域住民の利便性を しました。 ○審査結果 蔵岡地区会より村道認定の 産業



般国道47号線・古口事故

対策事業の促進について

ぶ極めて重要な幹線道路であ 左記は要望書の抜粋です。 に要望活動を行ってきました。 5月13日、県選出国会議員 般国道47号の新庄酒田間 最上地域と庄内地域を結

> います。 時は通行規制区間にもなって 間となっており、また、豪雨 冬期間には事故が多発する区 峻で狭隘な道路であるため、 一方、 最上川沿いに走る急

賜りますようお願い申し上げ 対策事業」の早期完了と更な となった昨今、大型車両等交 間)」等に対する地域の期待は 升形~戸沢村大字津谷 る対策事業に特段の御配慮を から、「一般国道47号古口事故 通量の増加が見込まれること 大きなものとなっています。 を予定している高規格道路 「新庄酒田道路(新庄市大字 ついては、供用開始が目前 そのため、今年度中に供用

柿﨑

英矢

対策事業』の早期完了につい 7

3 振動対策について 冬期間の除雪について

第4回臨時会 6 / 26

1台です。価格は3366 ータリ除雪車 (1・5m級) た。物件の仕様及び企画は、口 ついて審議を行い可決しまし 除雪機械購入契約の締結に (税込み)。

ります。

31 日

ます。

『一般国道47号古口事故

2 交通量増加による、

29 日 30 日 // // 第3回モモカミ・ゴミバスターズ大作戦 最上広域市町村圏事務組合議会全員協議会・5月 最上開発協議会総会・懇談会 最上地域開発推進懇談会 議会運営委員会

6月

2 日 TOZAWAツーリズム協議会下刈り活動

3 日 議員全員協議会

// 山形県町村議会議長会臨時総会

5 日 。 6 日 東京都北区議会議員団との情報交換会

7 日 定例会(本会議)

11 10 日 日 各常任委員会

定例会(本会議)

// 議会広報常任委員会

13 日 最上市町村議会議長会定期総会

// 舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会監査 最上地方町村議会議長会定期総会

20 18 17 14 日 日 日 戸沢村防犯協会総会

最上地域奥羽新幹線整備実現同盟会総会

最上地区広域連合議会議会運営委員会・全員協議

24 23 21日日日 議会広報常任委員会

第13回議長杯グラウンド・ゴルフ交流大会

第36回戸沢村老人クラブ連合会公式ワナゲ大会

// 例月出納検査

最上地区広域連合議会定例会

26 25 日 日 議員全員協議会

// 令和6年第4回臨時会

新庄·湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会

// 第2回戸沢村観光物産協会理事会

29 28 日 日 舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会総会

JAまつり



一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を 村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするもの。

I	安食 勇 議員
I	柿崎 英矢 議員
III	荒川 和明 議員7 P介護保険について農業問題について高麗館の施設表示・看板等について
IV .	加藤 政一 議員 ···································
V	岡田 孝一 議員 9 P 付道の管理状況を問う 指定管理の状況は

村の存続と振興を 図る取り組みは

も高いのが戸沢村であり、 あるのではないか。 決に向けた更なる地域おこ 今後の危機感が否めません て若者の減少率が県内で最 し協力隊を迎える必要性が **人手不足も伴う中、課題解** 消滅自治体とし

住する所が少なく重ねて対 地域おこし協力隊の方が居 図りたい。ただし今現在、 応していきたい。 題のテーマを絞って募集を まちづくり課長 様々な課

> 地域おこし協力隊 新たなる制度運用方針は の

ら企業誘致や企業立地を図 図るなどの、新たな制度運 の創出や活性化を促しなが 用方針が必要ではないか。 の関係人口に向けた連携を 目指していただきたい。更 る民間等派遣型が必要です には東北農林専門職大学と の課題解決と、 **歩興に向けて手伝いながら 八手不足や担い手不足など** 企業と協業を図り雇用 就農特化型の農業 新規就農を

> との雇用契約だけではなく 村が委託する方式も検討し 事業所と雇用契約を結び、 を図る予定です。また、 村内事業者や団体等に公募 向上に資する事業の提案を な創出を図り村民の利便性 入型を取り入れながら新た 今後は民間企業等受 村

ター地域おこし協力 出会いコーディネー 隊について

視野を広めて素敵な出会い 問 みが必要ではないか。 を図りながら施策の取り組 更に本腰を入れた官民連携 おこし協力隊が必要です。 をコーディネートする地域 今後、色々な角度から

ら進めていきます。 村長 活推進員と協力を図りなが 管内市町村、各種団体が婚 支援しています。更に県と ビやまがた」への登録料は いる。村としても「Aーナ する補助金の整備を進めて 婚活等について支援

安食

携は大事です。更に婚活支 援員の活動を促す予算確立 市町村各種団体との連

こし協力隊を置けないのか 活コーディネーター地域お からの支援も受けながら婚 婚活相談の取り組みを図る 題ではありません。婚活イ では問題解決となる甘い ことが必要です。また、国 ベント以外で村に常勤して しかし、現在までの経緯

ていきたい。 副村長 分に話し合いをして考慮し まずは担当課と十 も必要です。

方が活動後も定住していま げるためには支援が必要で た取り組みは。 ている現状です。 隊員終了後の定住に 向けた支援策は 更には36%が起業をし 村としての定住に向け 全国的にみても6%の 定住に繋

明確にしていきたい。 階で協力隊の導入理由を、 いきたい。また、 活躍できるように支援して 村としても定住して 募集の段

り組みをお願いできますか し住民との絆を深め定住し 誠意が伝わる話し合いや取 ていただくためにも、村の 村の振興のために尽力

組みをしていきます。 しっかりと話し合いや取り 定住に繋がるように



議員

勇

柿﨑英矢 議員

沢村第二期人 ヒジョンについて

ある戸沢創生推進本部で計 ていきたいとの回答でした 画の見直し、改善を協議し 協議状況と今後の計画 前回の村長答弁で魅力

> 村独自の減少対策をどのよ と4月に報道されています。 沢村は減少率が上位にある

うに考えているのか。

善を協議していきたいと考 る「創生推進本部」におい ても計画見直しを含め、改 民関係機関、行政で構成す 評価指標を設定し目 村 村長 強化していきます。 の関心層の受け入れ態勢を を多面的に検討し、 画の販売促進に資する施策 業を計画的に進め、 定住促進団地整備事 地方へ 分譲区

標に向かって取り組み、

容の見直しの考えはないの また、これまでの取り 婚活推進委員の活動内

期計画の策定を行います。 えています。来年度に第三

をあげているのか

組みとして、どの様な成果

録をいただき、結婚を希望 が1件であります。 び助言等結婚成立に向けた する独身者の仲介、 て3件、成婚に繋がったの 支援をして頂いています。 これまでの活動実績とし 現在2名の方から登 相談及

増やす考えは。 今後、 推進委員の数を

増やして行きたいと考えて 村長 います。 を頂いて、推進委員の数を 若い世代からも協力

減少率が6番目と高く、戸

全国的に山形県の人口



大規模災害の対策は

問 災害救助法を適用し社

> のか。 ランティアセンターを立ち います。大規模災害時にボ 結んでいる自治体が増えて 会福祉協議会との協定書を 必要な協定書は結んでいる 町村職員の人件費や交通書 上げの場合、協力頂いた他 等の助成金を申請するのに

村長 ています。 対応を参考にしたいと考え 用する際は、関係自治体の 会との協定書は結んでいま えとして、災害救助法を適 定です。今後は非常時の備 せんが、 現在、 6月末に締結の予 社会福祉協議

と考えるがいかがか。 迅速に対応するために必要 訓練も重要です。災害時、 ち上げ訓練や、避難所設置 たボランティアセンター立 練です。 の命と財産を守る大事な訓 毎年、 大規模災害に向け 水防訓練等は住民 消防団による操

福祉協議会、避難所設置訓 アセンター設置訓練は社会 今後は、ボランティ

> えています。 訓練をすることが適切と考 練は健康福祉課と連携し、

予定しています。 活用し、 幼児用品をサンプルとして 訓練は段ボールベッドや乳 地震を想定し、 訓練当日は水害もしくは 炊き出し訓練等を 避難所設置

います。 万全な体制の訓練を約束願 備えあれば憂いなし、

いきたいと思います。 今年度から再開して



社会福祉協議会事務所にて ィアセンター設置訓練。 大規模災害を想定したボランテ

荒川和明 議員

護保険について

戸沢村の介護保険料が県内 介護保険料負担軽減に向 今後どのような対策を この度の見直しにより 番高くなりました。

予防」(※1)を強化してま 重要となります。 た各種事業は、今後も継続 期介護保険事業で行ってき 体をいかに維持できるかが の働きが衰える「フレイル で、加齢に伴って心と身体 して行っていき、そのうえ そうした意味では、 第8

減を図るには元気な心と身

介護保険料の負担軽

す。

は 町村を見ると、介護予防運 問 っています。戸沢村でも指 状態に合わせ予防指導を行 動指導員を配置し高齢者の 導員を配置し予防する考え 介護保険料が下がった

努めております。 どの普及啓発を行い予防に 介護予防、認知症に関する 動などを取り入れながら、 業の一つとして保健センタ ーを会場に週4回、 健康に関する知識な 村では、 介護予防事 器械運



辰業問題について

国の施策をどのように捉え から畑作物への転換を推奨 すが、5年間、水張ができ ているのか。 定化と食料自給率に反する 水田に戻せという食料の安 して来たにもかかわらず、 されました。これまで稲作 ない所は水田活用交付金対 象から外すと国の方針が示 水田の5年水張問題で

村長 水張するかどうかのアンケ ート調査を実施し、交付金 村としては、今後、

> 施したいと考えています。 については令和7年度に実 事業を継続するための水張 食料自給率向上に向けて

での補助等の考えは。 助金の交付期間は5年間と ることが予想されます。 期限付きとなっています。 **長業経営が厳しいものにな** 畑地化を促進しても補 村

国・県の補助事業等も活用 作物への転換など、各種、 うな技術的な支援や高収益 携し単収の増につながるよ 戸沢支店営農センターと連 術普及課やもがみ中央農協 しながら所得向上の支援を 最上総合支庁農業技

で板等について 麗館の施設表示

伴い交通量が5分の1にな 中に完成しますが、それに 新庄古口道路が今年度

クターは介護予防指導員の

担当しているインストラ

有資格者です。

待しています。 政策が実施され農業の再生 に資するものとなるよう期

考えています。

考えているのか。 ントや道路看板等の対策は ると予想されますが、イベ

りながら再整備について検 おり、 ることを強みとして、 討を進めていきたいと思い を前面に出した運営をして 地域の合意形成を図 韓国調の建築物であ 韓国

や道路看板等設置の考えは すが、ぽんぽ館のイベント 業を目指す準備をしていま 奥羽金沢温泉が8月開

会など実施している状況で として毎月行っており抽選 「ぽんぽマルシェ」

後、必要に応じて検討させ ていただきます。 道路看板等については今

す。 ―― フ サ ヤをのは栄養 います。予防に大切なのは栄養 が高まった状態をフレイルとい 下し、要介護状態となるリスク (※1) フレイル予防とは 年齢とともに心身の活力が低



加藤政 議員

デジタル化に向けた 計画策定は

計画策定業務を進めて行く 政的措置をどのように行い ていますが、人的配置と財 た計画策定の業務が行われ 置され、デジタル化に向け DX推進係が新たに設

ジタルトランスフォーメー 定を進めていきます。今後 推進係を新設して、計画策 を受けまちづくり課にDX 支援事業者(※1)の支援 証モデル地域として、伴走 ション(DX)推進支援実 の予定は、各課、各係のヒ 今年度、県によるデ

> アリングと住民のニーズ調 査を行います。

のか。 み入れた推進計画の策定な っていくのか。 ず業と連携をどのように図 DXを村民の生活に組 また、農林業、健康 教育等の多岐に及ぶ

内の事業所にもアンケート 住民アンケート調査と、村 中旬から7月中旬を目途に 6月18日以降、 のヒアリングを行い、6月 ぶ業務の連携を図るため、 まちづくり課長
多岐に及 各 課、 各係

> 討します。 調査結果を基に、村内でD 調査を実施する予定です。 ×をどのように進めるか検 ヒアリングとアンケート

源とセキュリティ対策は。 人材育成と事業化の財

問

園都市国家構想交付金を活 調整を図って頂き、 実証の財源は、デジタル田 長に推進委員として各課で まちづくり課長 各課の係 事業化

> 進めていきます。 用して実証し、セキュリテ イ対策は、 担当課と協議し

図るのか。 組みへの支援はどのように 村内企業のDX化の取

いきます。

村長 ていきます。 等の支援メニューを検討し 結果を踏まえて助成、 ケート調査を実施し、 村内企業にも、 調査 アン 補助



DX推進に向けた各課に対するヒアリング

保健師の確保と、医師の確

村民の健康維持に向け

村民の健康維持に

向けた取り組みは

保に向け、3月議会以降ど

等を仰ぎ、 負担軽減に向け、 生の負担軽減を図ってきま 集は継続して行う予定です。 現行体制で、 ポートできる体制を考えて のように取組んできたのか。 大を訪問して渡邊先生をサ い事業を選択して進め、 後どのように取組むのか。 医師の2人体制も含め、 した。今後も、 医師については、 保健師の応募がなく 早急に自治医科 優先順位の高 渡邊先生の 県の指導 渡邊先

提供をサポートします。 課題発見・計画策定ノウハウの けたサポートを行います。また、 順書、DX推進計画書策定に向 Xリーダーの育成、進捗管理手 庁内の機運づくり支援、身近な (※1) 外部の専門家等がD

村道 の管理状況を問う

刈り実施路線と選定基準は 今年度予算化されている草 するのは、大変重労働です では村道まで草刈りを実施 関係戸数の少ない集落 急激に人口減少が進む

り見通しが低下する箇所や 故発生の危険性が高い箇所 幅員が極端に狭いなど、事 道路のうち雑草の繁茂によ 実施している。路線選定に 長25㎞の除草を委託により ついては、地区を結ぶ幹線 建設水道課長 22路線、 延

地区が村管理路線に入って いないのか。 なぜ杉沢地区や向松坂

問

線を行っている。道路状況 います。 路線に加えていければと思 を確認のうえ必要に応じ、 建設水道課長 毎年同じ路

ません。 通行に支障をきたしている 松坂地区は路線に入ってい とは伺っていないので、 現状は川と構造物の間で

してきたので、 は所有者の方が除草を実施 していません。 農地に付随している地域 除草は実施

> い えて、見直しを検討する時 結果も忘れず行って頂きた の見直しが無い実態を踏ま 頂きたい、更に防雪柵調査 期と考えます。検討路線に ついて、議会にも公開して 十年以上も、管理手法

状を見た上で検討します。 村長 あると思いますが、今後現 今までの、 ルールは



指定管理の状況は

議員

と、村は多岐にわたる業務 問 委託契約を結んでますが、 とざわスポーツクラブ

岡田孝

どう考察しているのか。 現在、クラブの経営状況を

ど益々需要が増える見込み 部活動地域移行支援業務な 等からの収益で経営されて 課での健康教室等の委託料 指定管理委託料と健康福祉 ラブについては、村からの います。今後、健康教室や 現在スポーツク

考えと根拠は。 施設や事業に対する積算の 営利団体を除く、委託 保など問題が推測されます

です。それに伴い、

人材確

基に見積もりで行っている 料の積算は、 共育課長 人件費は1日7500円で 指定管理の委託 前年度実績を

いる運動インストラクター いない。積算を検討する時 の単価が10年以上変わって 期ではないか。 健康福祉課で委託して

分より1回1000円 健康福祉課長一令和6年度

> を概算払いとしている。 払い、クラブの希望で八割 施設使用料3000円を支

いを含め見直しが必要では 共育課長 共育課についても前払 国の通知や賃金

経営人材確保に努めていき 積算し、 水準の変動を踏まえ適正に 持続可能なクラブ

託が出来るよう、 今後持続可能で安定した委 直すべきでは、 これまでの質疑を捉え 積算を見

村長 とに適正に進めていきます。 関係機関の指示のも

その分利用料が減収であり 活動団体に対して、減免措 村が補填すべきと思います 直を講じている状況ですが 村の考えは。 村は、スポ少など社会

要でありその通りです。 減免分の補填は、 必

次代を担う新規就農者

美鈴さん 佐藤

幼少期より農業に触れる中で農業という職業に興味を持ち、令和3年に山形県立 農林大学校野菜経営学科に入学しました。農大では野菜全般の栽培技術について主に 学び、そのなかでも近年需要が増えていることや管内で栽培が盛んであることからミ ニトマトに注目、専攻と卒業後の進路を定めました。

農大卒業後は荒木さん(野口地区)のもとでミニトマト栽培について学び、就農 2 年目の現在は25間ハウス2棟でミニトマト栽培を行っています。





議会傍聴のお知らせ

次の定例会は下記のとおりです。

9月11日珍~17日必

本会議は、インターネットでもご覧 いただけます。詳しくは議会事務局 ☆72-2113にお問い合せください。

> ところです。 となりました。 気をつけましょう。 每 植えが終わ 暑さが増します。 いもち、 b,

中干

Ŏ

時

カメム

一意しましょう。 議会広報常任委員 健 康

誠

期を迎え実りの喜びを感じてい 畑に植えた野菜も収 穫 0)

編集

後記

第13回 戸沢村議会議長杯グラウンドゴルフ交流大会結果

【男子の部】 1位 冨 澤 善右衛門 間 2位 本 弥 助 3位 塚 俊 石 博 4位 増 山 保 5位 久 夫 安 食 也 勝 6位 田 7位 橋 昭 髙 或 8位 山 科 正 9位 安 食 喜 10位 荒 Ш 喜

【女子の部】 1位 庄 司 初 子 2位 安 食 克 子 3位 柿 﨑 俔 子 4位 早 坂 文 5位 大 Ш 美知子 6位 堀 米 荒 Ш 7位 8位 田 和 紀惠子 9位 出 村 茂 子 10位 冨 澤

総合優勝の冨澤善右衛門さんに議長から優勝カップが送られました。



表紙の言葉

令和6年6月23日、第13回目となる大会を 開催しました。あいにくの小雨となりましたが、 日頃の練習の成果を発揮できたようです。 大会結果は上記のとおりです。